

第6回 慰霊の旅—おながわ会



阿部和夫氏



三宅宗議氏



講演会風景



大川小学校で

おながわ会恒例の慰霊の旅は、平成30年10月20日（土）～21日（日）第6回目が実施された。

1日目（20日）10時仙台駅集合。バスで一路女川へ向かう。到着後それぞれ買い物や昼食を済ませて、午後2時から新設の女川町役場庁舎・生涯学習課会議室で開催される町教育委員会・おながわ会主催の女川文化財講演会に参加する。講師は石巻芸術文化振興財団理事長の阿部和夫氏（演題「石巻地方における戊辰戦争あれこれ」）と三宅宗議氏（演題「女川の気になる地名一針浜」）。2時間にわたる郷土の話に参加者は興味津々だった。夕方から須田女川町長を交え町の人たちと懇親会。お開きの後も2次会、3次会と梯子をしたモサもいたらしい。

2日目（21日）、9時慰霊碑前で照源寺住職による法要を執り行い、それぞれ香を手向け合掌した。その後竹浦や雄勝を経由して大川小学校へ。語り部の方に当時の様子や現状について説明をしていただいた。大川小を後にして南三陸さんさん商店街へ向かう。商店街を視察後石巻に戻る。途中、石巻総合運動公園で女川コバルトーレの公式試合が行われているので、観戦希望者を降ろして仙台へと帰路に着いた。女川元気会から「おながわ会」と会名を変え、運動方針も新たにしたが、慰霊の旅は続けたいという声があることから継続することにしたが、参加者は前年より少なく26人だった。震災への記憶が薄れてきたこともあると思うが、運動のあり方についても一考を要する時期に来ているのであろう。